

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	42100	公衆便所維持管理費		担当課	水道環境部 下水道課		内線	2264
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちめざして	
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生	
	項	2	清掃費		基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する	
	目	1	清掃総務費		施策	4	公衆衛生の向上	
実施計画事業	公衆便所管理事業、公衆便所整備事業							
市長の約束								

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(市民含む)	受益者数	5,000,000 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	だれでも快適に利用できる公衆便所の整備や管理を行う。		
概要	事業の実施手法(手段)	年間を通して快適に公衆便所を利用できるように清掃等の維持管理業務を行う。業務については民間業者に委託する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 公衆便所の整備	算出根拠等	所管トイレの設置箇所数	箇所	目標値	10	11	12	14
				実績値	10	11	12	-	
② 公衆便所の維持管理	算出根拠等	トイレの維持管理日数(年間)	日数	目標値	365	365	366	365	
				実績値	365	365	366	-	
成果面	算出根拠等	実際に寄せられた苦情	件	目標値	0	0	0	0	
				実績値	0	1	1	-	
成果指標	算出根拠等	整備箇所数	%	目標値	0	2	1	2	
				実績値	0	2	1	-	
コスト面	算出根拠等	維持管理経費/公衆便所設置箇所数		目標値	3	11	4	11	
				実績値	4,040,000	3,810,000	4,000,000	4,000,000	
コスト面	算出根拠等	公衆便所1箇所あたり		目標値	1,320,600	3,941,182	1,177,833	3,142,857	
				実績値					
コスト面	算出根拠等	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額			
		歳出(千円)	(A)	13,206	43,353	14,134	44,000		
コスト面	算出根拠等	受益者負担(使用料・負担金等)							
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	算出根拠等	一般財源	13,206	43,353	14,134	44,000			
		指標名	H21	H22	H23見込	H24計画			
コスト面	算出根拠等	受益者1件あたり(円)	(A/B)	3	11	4	11		
		受益者	観光客入込み数	(B)	4,040,000	3,810,000	4,000,000	4,000,000	
コスト面	算出根拠等	公衆便所1箇所あたり		1,320,600	3,941,182	1,177,833	3,142,857		
コスト面	算出根拠等	維持管理経費/公衆便所設置箇所数							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	総合計画に位置づけられており、観光客500万人(目標)の高山滞在中の利便性及び快適性の向上及び受入体制の充実が観光客の誘客には不可欠であり、重要性は非常に高い。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B	観光客のみならず市民を含め、だれでも利用できる公衆トイレの維持管理であり、老若男女、健康者、障がい者を問わず快適に利用できるよう、清掃と整備を行っていくことは必須である。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	観光客が利用するとともに、市民も多数、利用している。観光都市高山としてイメージがよければピーターも確保でき、観光客が増加すればその効果は市内へ波及する。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	清掃等の維持管理については適切に行われていると考える。ただし、利用者からの苦情「0」を目標としているが、現実には苦情も寄せられている。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	トイレの快適性維持のため、毎日清掃を行っており、衛生的に一定レベルは確保されている。清掃については民間業者に業務委託を行っており、よく起こる詰まり等にもバキュームでの吸引等即日対応が可能となっている。手段として有効である。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	さらに利便性を向上させるため、施設の整備・修繕・改修について検討は必要。利用者から寄せられた苦情に対しては、随時委託業者と協議し、必要に応じて指導(従業員教育の徹底等を指示)を行っている。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	利用者マナーの問題も大きい。清潔で快適性の確保にはある程度のコストがかかる。しかし、利便性を確保した中での維持管理経費の低減について更に取り組んでいく必要がある。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	公衆便所の整備が計画されている年度については、受益者1名あたりのコストは跳ね上がるが、清掃管理費は受益者1人あたり概ね3.5円で近年推移しており適正である。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	観光客等利用者に対する公衆トイレの利便性及び快適性は確保できており、コスト的にも見合った成果が上がっている。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	14.0 / 20.0	100点換算	70 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	公衆トイレの清掃等維持管理については民間業者への業務委託による管理を継続していく。観光客等、利用者の利便性とニーズを考慮し、公衆トイレの設置が必要な場所があれば検討する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・管理については継続して実施する必要がある。 ・市民や国際観光都市としての利用ニーズに応じ、観光の周遊ルートの沿線等にトイレ設置を検討する必要がある。 ・全体的な整備計画を策定する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	14,134	15,069	935	14,242	14,242
国庫支出金			0		
県支出金			0		
起債			0		
その他		65	65	65	65
一般財源	14,134	15,004	870	14,177	14,177

予算要求の概要	下水道課所管の公衆便所12カ所の維持管理に必要な消耗品、光熱水費、修繕料、委託料等の経費
要求額増減理由	平成23年度整備予定の公衆便所1カ所の維持管理費の増
事業実施の課題	施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	42115	浄化槽設置整備事業費	担当課	水道環境部 下水道課	内線	2253
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	4 衛生費		分野	5 上下水道	
	項	2 清掃費		基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	目	1 清掃総務費		施策	2 水洗化の普及	
実施計画事業	浄化槽整備事業補助					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	下水道整備計画区域外の市民	受益者数	40世帯
	どういう状態にしたいのか(意図)	生活排水による河川の水質汚濁の進行を防止し、生活環境を保全する。		
概要	事業の実施手法(手段)	浄化槽を下水道整備計画区域外の地域(浄化槽整備区域)で設置する市民に対して補助金を交付する。		
	前回の評価からの改善・改革のポイント	国・県からの補助金を受けていることから、補助事業の進行状況を把握するため、浄化槽設置事業者から「浄化槽設置予定申告書」を提出してもらったようにした。		

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		① 浄化槽設置整備事業補助金交付件数	件	目標値	48	32	40	40
		実績値	32	31	35	-		
		達成率(%)	67	97	88	-		
成果指標	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		②		目標値				
		実績値					-	
		達成率(%)					-	
成果指標	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		① 浄化槽設置整備事業補助金交付件数	件	目標値	48	32	40	40
		実績値	32	31	35	-		
		達成率(%)	67	97	88	-		
コスト面	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		②		目標値				
		実績値					-	
		達成率(%)					-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				36,221	30,884	40,040	35,000
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				11,607	8,887	12,113	12,756
コスト面	一般財源				24,614	21,997	27,927	22,244
	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件あたり	(A/B)	1,131,906	996,258	1,144,000	875,000	
	②	受益者	浄化槽設置整備事業制度利用者 (B)	32	31	35	40	
算出根拠等								

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	市長公約である「下水道の整備」の整備区域外の市民に対し、浄化槽の設置を促進、支援することで生活環境の保全を図ることは、政策的な重要度は高い。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B	浄化槽補助対象地域は下水道整備計画区域外であるため、補助金交付の対象となる市民は限定されるが、ある程度ニーズはある。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	下水道整備計画区域外の市民が対象であるが、浄化槽を設置することで河川の水質汚濁を防止する。特に、上水道の水源である小八賀川の水質汚濁防止には重要な事業である。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	浄化槽補助交付件数は、成果指標の目標値を概ね達成している。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	下水道整備計画区域外の生活環境の保全を図るうえでも、浄化槽の設置を促進、支援することは有効である。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	現行制度は概ね課題はない。今後、広報等による制度の周知のほか、対象地域の戸別訪問などを行い、浄化槽の設置を促すように努める。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	A	ここ数年補助金交付件数は比較的安定している。補助希望者が増(減)すれば、コストも増(減)することとなる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	市の理由により下水道整備計画区域外となった箇所については、浄化槽補助対象金額の補助割合を100%としている。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	補助額がそのまま市民の浄化槽設置に対する金銭的支援になるので、コスト=市民への効果となる。補助希望者が増(減)すれば、コストも増(減)することとなる。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	15.0 / 20.0	100点換算	75 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	現行制度を継続し、さらに現行制度の周知、啓発、個別訪問に努めていく。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	平成22年度事業評価において、対象地区への周知、啓発を積極的に行うことにより早期の設置促進を図っていく必要があるとの指摘をしており、引き続きこうした取り組みを継続していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	40,040	40,069	29	35,040	35,040
財源内訳					
国庫支出金	6,021	5,997	△24	5,531	5,531
県支出金	6,092	6,073	△19	5,590	5,590
起債			0		
その他			0		
一般財源	27,927	27,999	72	23,919	23,919

予算要求の概要	下水道整備計画区域外の地域における浄化槽設置に対する助成
要求額増減理由	
事業実施の課題	制度の周知、啓発

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・実績をふまえ実施計画どおりとする
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	42300	し尿処理施設管理事業費		担当課	水道環境部 下水道課		内線	2971
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生	
	項	2	清掃費		基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する	
	目	3	し尿処理費		施策	5	し尿処理対策	
実施計画事業	し尿処理施設管理事業、し尿処理施設維持修繕・改修事業							
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	し尿汲取り及び浄化槽設置の市民	受益者数	16,185 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	し尿処理施設の適正な維持管理を行い汚水流出の防止及び生活環境の改善等を図る。		
概要	事業の実手法(手段)	環境センター、久々野衛生センターの維持管理 飛騨市への事務委託		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① し尿処理場(直営)数	施設	目標値		1	1	0
実績値				1	1	0	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100		-
② し尿処理場(委託)数	施設	目標値		1	1	2	2
		実績値		1	1	2	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
① 放流水質の確保	回数	目標値		0	0	0	0
		実績値		0	0	0	-
算出根拠等	水質事故件数		達成率(%)				-
②		目標値					
		実績値					-
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			198,793	194,493	198,491	191,500
	受益者負担(使用料・負担金等)			9,399	6,929	8,404	3,500
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源			189,394	187,564	190,087	188,000
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件あたり	(A/B)	目標値	10,862	12,017	12,406	11,399
			実績値	18,302	16,185	16,000	16,800
②							
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画、市長公約に位置づけられ、市民の環境・衛生を守るため、し尿処理の政策的重要性は高い。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	し尿処理、浄化槽汚泥処理には、下水道未普及区域や浄化槽整備区域があり、今後もある程度のニーズがある。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	し尿処理、浄化槽汚泥処理は、下水道整備手法の種別を問わず、市内全域が対象となり、事業効果も概ね市民全体に及ぶ。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	今年度より、久々野衛生センターの業務委託を行い、十分に成果指標の数値を達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	専門技術員(委託)による処理場の適切な維持管理と、効率的な機械設備の運転を行っている。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	施設の老朽化に伴う突発修繕の増加、各設備の延命計画作成、処理場の統廃合検討を行っている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	久々野衛生センター維持管理業務の委託化を図るなど、改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	事業の性格から判断して、受益者1人当たりのコストは適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	久々野衛生センターをH23年度より委託化し業務の効率化を図っている。今後コストを維持しつつ、現有施設の延命化を図っていく必要がある。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		14.0 / 20.0	100点換算 → 70 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	現有施設の延命化による持続可能な維持管理運営を検討する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・施設の延命化に努める必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	198,491	208,053	9,562	197,401	197,401
国庫支出金			0		
県支出金			0		
起債			0		
その他	8,404	5,212	△ 3,192	4,204	4,204
一般財源	190,087	202,841	12,754	193,197	193,197

予算要求の概要	し尿処理施設の維持管理に必要な消耗品、光熱水費、修繕料、医薬材料費、委託料等の経費
要求額増減理由	汚泥処分にかかる飛騨市への事務委託料の増 災害等突発に対応するための備品購入費の増
事業実施の課題	施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・実績を踏まえ減額
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり